

たんちょう通信

～ 第 11 号 ～



丹羽 孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。11月中旬に大阪で「脱炭素経営EXPO」が開催されました。西日本最大級の展示会で、約130社が次世代のエネルギーに関する商材を展示していました。その中でも今後、弊社が取り扱うべき商材である再生エネルギーの「住宅用太陽光発電」と「蓄電池」のシステムに関心があり、商品知識を増やすためにもこの度大阪へ行って参りました。折角の機会だったので、新人営業の山田社員も連れて行きました。13時から始まる「これからの住宅事業に求められる太陽光発電の姿」と題したセミナーにも受講してきました。自宅の屋根に「太陽光パネル」を載せて、日中に発電した電気を「蓄電池」に貯めて夜に自家消費する仕組みです。弊社も10年前に社屋の屋根に太陽光パネルを載せました。10年間の買い取り制度も来年の3月には終わり、これからは日中に発電して使いきれなかった電気は「売る」のではなく、「蓄電池」に貯めて自家消費型に変えていかねばなりません。しかし現実には、「蓄電池」はまだまだとても高額でそう簡単には普及していかないと思いました。自家消費型で採算が合うにはまだまだ時間が掛かりそうです。その中でも、時代は少しずつ変わっていくと思います。その時代の流れにもちゃんと目を向けて、意識しながら事業展開していかなければならないと感じました。2050年の脱炭素社会(カーボンニュートラル)に向けて、石油を燃やさない時代が本当に来るのでしょうか？自動車はすべて電気自動車に変わるのでしょうか？そうすると弊社が取り扱う「プロパンガス」は売れなくなります。「プロパンガス」は「液化石油ガス」と呼ばれ「石油」を採掘すると一緒にとれる「副産ガス」と言われています。それを液化させてボンベに詰めて輸送する。ご家庭に設置されたガスボンベのバルブを開けると圧力差でガスが気化され、ガスパイプを通じて台所のコンロに火が付きます。「プロパンガス」は膨張率が高く、取り扱い易く、移動式燃料に適しており、災害時では、分散型エネルギーとして重宝されています。それが30年後には使えなくなるのはとても残念なことです。人類は「火」と共に文明が進化してきました。そして、弊社にとって「プロパンガス」は生命線です。しかしいつの時代もお客様に寄り添って、お役立ちすることが大切な仕事です。弊社にとって「プロパンガス」を売ることは「手段」であり、大切な仕事は「お客様の生活を守ること」毎日の当たり前な生活を「当たり前前に過ごせるよう」お手伝いすることです。生活に密着した困りごとを解決する「お助け隊」です。弊社もガスのみならず、電気工事も手掛けております。これからは、「ガス」と「電気」の「ハイブリット」で行きます。ご不備がありましたら、どうぞお気軽にご相談くださいませ。よろしく願いいたします。感謝





たんちょう隊の公式LINEはこちら!

住まいのちょっとしたお困りごとの
解決方法をお知らせしています。



公式インスタグラムはこちら!

たんちょう隊の活動や、日常の様子を
毎日投稿しています。フォローお願いします!



TANCHOGAS



なかむら ちはる
中村 早希

皆様、初めまして! 入社1年目、新入社員の中村早希です。
茨城県生まれ、鈴鹿市育ちで現在も鈴鹿市在住です。
ご縁があって今年の4月にお客様サポーター係として丹頂ガスへ
入社しました。担当地域は、亀山、鈴鹿、津方面です。
ご訪問した際は、どうぞよろしくお願いいたします。

私は高校1年生の時に、鈴鹿市の広報に載っていた弓道教室に惹かれ、弓道を始めました。
16歳から20歳までの5年間続けていました。その20歳のときに京都にある千体千手観音立像で
有名な三十三間堂で大目的全国大会(弓道の大会)に出場しました。振袖とネオ目的を
射るのは初めてで、小柄な私には少し重かったのですが、気を引き締めて挑む
ことができました。結果は入賞できませんでしたが、私の大切な思い出になりました!
今年の4月に新卒で入社し、また皆様のお家やお名前を覚えることで精いっぱい
ですが、1日も早く1人前になり、皆様のお役に立てられるよう
に頑張ります!! どうぞよろしくお願いいたします。



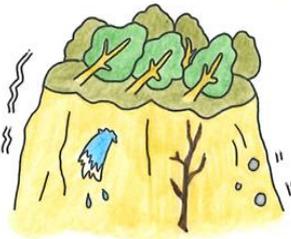
防災
コーナー

地震のあとは土砂災害に注意!

地震によって地表に限らず、地下の深いところまで地盤が緩んでいることがあります。揺れの強かった
地域では、少しの降雨がきっかけとなって土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり・深層崩壊)が引き起こされます。

～土砂災害の前兆～

- ・がけにひび割れができる
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出る
- ・湧き水が止まる・濁る
- ・地鳴りがする ・川の水が濁る
- ・樹木が傾く ・腐った土の濁いが出る
- ・降雨が続くのに、川の水位が下がる など



土砂災害から身を守るため
最低限 知っておくべき 3つのポイント

- ① 住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」かどうか。
- ② 雨が降りだしたら、「土砂災害警戒情報」に注意
- ③ 警戒レベル4で全員避難!

